

アクションプランの策定に当たっての背景

1. 北陸新幹線敦賀延伸開業の概要

○2022年度末金沢・敦賀間開業予定



○時間短縮効果

【金沢⇄新大阪間】

現行2時間38分 → 開業後2時間程度 (▲30分程度)

【金沢⇄名古屋間】

現行2時間32分 → 開業後2時間程度 (▲30分程度)

(参考) 敦賀・大阪間について (H29.3ルート決定)

○金沢⇄新大阪間所要時間

約2時間 → 開業後約1時間20分 (▲約40分)

2. 県内全線開業に向けたアクションプランの策定について

○アクションプラン策定の趣旨

- ・北陸新幹線金沢開業時には、STEP 2 1を策定し、「おもてなしの向上」「食文化の魅力向上」「歴史・景観を活かした地域づくり」の3つの柱に沿って、官民を挙げて開業準備に取り組んだことが大きな開業効果につながった。
- ・この効果を今後も維持・拡大していくためには、県内全線開業を「第二の開業」と捉え、しっかり準備する必要がある。
- ・このため、「第二の開業」に向けた官民あげた取組みの指針として新たなアクションプランを策定する。
- ・本プランの策定に当たっては、金沢開業時に掲げた3つの柱を継承しつつ、本県を取り巻く現状や県内全線開業による環境の変化、南加賀の特色、近年の社会情勢等を踏まえ、取組みの方向性を検討する。

○本県の現状と県内全線開業を取り巻く主な状況

現状

- ・金沢開業により想定を超える効果・想定外の効果が発現し維持されている。
 - 【想定を超える効果】新幹線利用者、観光客、外国人旅行者の増等
 - 【想定外の効果】東北からの観光客、レール&クルーズの定着、県外企業の進出、子育て世代の移住の増等
- ・県内全線開業及び新たな開業駅の全国的認知度が低い。

県内全線開業を取り巻く主な状況

【県内全線開業による環境変化】

- ・南加賀地域に新幹線駅ができ、首都圏が直通で結ばれる。
- ・関西圏、中京圏との時間距離が短縮される。
- ・北陸三県で新幹線が開業する。
- ・小松・羽田便と北陸新幹線がより競合する。

【南加賀地域の特色】

- ・温泉地が集積、白山麓の自然、木場潟などの美しい景観
- ・ものづくり産業が集積、伝統工芸が盛ん等

【近年の社会情勢】

- ・国を挙げた観光立国施策の推進による全国的な外国人観光客の急増
- ・スマートフォンの普及等、ICTの急速な発達等